

# うみなり



令和4年度 六ヶ所村立第一中学校 学校だより



令和5年3月7日(火)発行 第22号 文責 藤川 俊彦

## 村スポーツ奨励賞を7人のみなさんが受賞!!



2月22日(水)スワニーにおいて、令和4年度六ヶ所村スポーツ賞授与式が行われ、本校の7名の生徒がスポーツ奨励賞を受賞しました。日々のたゆまぬ努力が成果として表れたことに敬意を表すると共に、今後更なる研鑽を期待しています。

### 【受賞者】

- 魚崎 紋誠(3年)第73回上北地方中学校体育大会夏季大会 水泳競技200m背泳ぎ 3分09秒27 第2位
- 上久保 煌清(3年)第73回上北地方中学校体育大会夏季大会 水泳競技400m自由形 4分51秒82 第2位
- 木村 彪大朗(2年)第54回上北地方中学校秋季陸上競技大会 共通男子800m 2分11秒29 第1位
- 豊巻 日向(2年)第72回北奥羽中学校対抗陸上競技選手権大会男子200m 24秒23 第1位
- 吉本 花(2年)第51回上北地方中学校体育大会新人大会 陸上競技2年女子200m 29秒43 第1位
- 鳥谷部 柚希(1年)第73回上北地方中学校体育大会水泳競技男子200mバタフライ 2分51秒49 第1位  
第51回上北地方中学校体育大会新人大会水泳競技男子100m バタフライ 1分21秒 第1位  
男子200m バタフライ 2分47秒90 第1位
- 越善 ライチ(1年)第51回上北地方中学校体育大会新人大会 水泳競技女子100m平泳ぎ 1分33秒80 第1位

## 生徒の手による新入生説明会を実施!



3月2日(木)の午後、本校体育館で4月に入学してくる新入生に対し、「生徒の手による入学説明会」を実施しました。

本来なら、2月2日(木)に実施する予定でしたが、インフルエンザの流行で、1ヶ月遅れでの開催となりました。

説明会では、2・1年生が新入生に対し、心を込めて説明していました。先輩方が自分たちで企画・運営した説明会を新入生のみなさんは、真剣に聞いていました。4月から先輩方、先生方と一緒に中学校生活を楽しみましょうね!!



## 生徒会執行部が天間林中の生徒議会を見学しました!



3月1日(水)七戸町にある天間林中学校(以下 天中)に生徒会執行部7名が行き、天中で昼休みに行われ

ている「生徒議会」や校舎、天中生徒の授業の様子を見学しました。開校して6年目の天中は、開校当初より「生徒の手による学校づくり」を目指し、ほぼ毎月「生徒議会」を生徒会執行部が主催し、9つの委員会委員長、5つの部活動部長、5つの学級室長が集い、その月の反省と次の月の計画、SDGsへの取り組みを確認します。また、各学級・委員会・部活動への意見・要望・提案・感謝等のやり取りを活発に行うことで、自分や所属する組織が気づかなかったことを知るきっかけになり、改善の足がかりとしています。何かを読み上げるのではなく、自分の言葉で話している天中の生徒達に感嘆しました。生徒会執行部は来年度4月から生徒会執行部主催の会(名称は未定)を行う予定です。どんな会になるのか今から楽しみです。

## 第2回 国際理解教室が行われました!!



2月17日(金)6校時第2回国際理解教室が行われました。

第1部は六ヶ所村国際教育研修センター国際交流員のマーク・ヴェアナーさんが移住と移民(難民)の違いやカルチャーショックの段階、逆カルチャーショックについてお話してくれました。

第2部は「海外生活とカルチャーショックの体験」と題して、マークさん、本校ALTのジェス先生、国際教育研修センターの中村さん、本校の黒瀧先生の4人でパネルディスカッションを行いました。

私は第2部のパネルディスカッションが楽しく、実際に海外に住んだ人にしか分からない話が盛りだくさん!とても興味深かったです。生徒のみなさんの感想には「海外に行くことはないと思うけど・・・」とか、「今のところ、留学に行くことはないけど・・・」と書いていた人がいましたが、一度日本を離れ、外から自分の国を見てみる事で、視野が広がり、日本や日本人の良さを再発見できるかもしれませんよね!

### パネルディスカッション 「海外生活とカルチャーショックの体験」

<b>中村 薫</b> 出身: 日本 仕事: 海外生活 ・韓国・ソウル市(3年) ・韓国・釜山市(3年) ・フランス・パリ市(4年)	<b>黒瀧 先生</b> 出身: 日本 留学: 海外生活 ・イギリス・ブリストル市(2ヶ月) ・イギリス・ロンドン市(3週間)
<b>Jessica YOUNG</b> 出身: 米国 仕事: 海外生活 ・青森県六ヶ所村(2022年7月から)	<b>Marc WERNER</b> 出身: ドイツ 留学: 海外生活 ・イギリス・フォークストーン市(1ヶ月) ・フランス・ストラスブール市(1ヶ月) ・チリ・テムコ市(4ヶ月) ・東京都小平市(1年) 仕事: 海外生活 ・青森県六ヶ所村(2019年8月から)



## つぶやき



「カルチャーショック」という文化の違いについて、国際理解教室で4名の先生方がパネルディスカッションしたのが興味深く(左記事参照)、中村さんが「フランスのスーパーでレジに並んでいたところ、勤務時間終了になった店員が、並んでいるお客さんに関係なくレジを終えてビックリした!また、そんな店員に対して誰も不快を感じていないことに更に驚いた!」旨のお話をされていて、フランス国民との文化の違いや働くことに対する意識の違いに、すごいなあと感じると共に、世界各国の文化や風習の違いを体験し、リスペクト(尊敬、敬意)することの大切さを感じました。

私にとっては1月13日(金)に本校の先生方5人で行った横浜創英中学・高等学校での視察研修会(学校HP校長室より「民主主義を育てる」参照)がカルチャーショックでした。「考えて行動できる人」の育成を建学の精神に置き、自律・創造・対話の3つをコンピテンシー(素養、行動様式、行動特性)とし、詳細として9つのスキルを上げています。実際の授業や生徒たちを見ましたが、服装や授業を受ける姿勢、態度等の「見た目」(外見)はあまり良くは見えません。(右QRコード内に、視察に行った先生方のレポートがあります)授業を見る前に本間副校長先生が「今の中学1年生は、まさにカオス(混沌:こんとん:ごちゃごちゃした状況)です!」とお話していましたが、まさにその通り、若い時の荒れた学校を思い出してしまいました。しかし、荒れた学校と違うのは中学校・高校の生徒共に来校者である私たちに、誰もが元気な声で「こんにちは!!」とあいさつするのです。また、この学校には全国各地の学校、教育委員会からの視察希望者が絶えないそうです。

カルチャーショックは、外国でも、日本でも自分が求めれば得ることができ、それが自分自身の成長につながるのではと思った私でした。



視察に行った先生方のレポートです。興味のある方はご覧下さい。3/31まで